

## もっと知ろうよ ICA 10 ICAの出版物(3)

ICAは記憶を記録にとどめて次の世代にそれを伝えるためのNGOだ。そのせいか、それとも50年以上の歴史そのものによるのかは不明だが、ICA出版物は多様さに特徴があるといってもよいかもわからない。前2回で主要な逐次刊行物と資料ガイドを見たが、今回はそれ以外の多様な出版物を一通り見て、都合3回にわたったICA出版物シリーズの結びとしたい。

### ICAハンドブックシリーズ

このシリーズはすでに9冊が発行されている。日本人にも馴染みの「ICA用語集」や「文書館の建物と施設」はこのシリーズに含まれる。ICA団体の諸出版物(9冊)、各種会議録(10冊)、教材シリーズ(2冊)、研究書(15冊)。1977年から出版が始まったシリーズ。文書館の建物と施設/文書の整理と記述/文書館用語集/図書・文書の修復基礎用語/文書の複製マニュアル/文書館の建物と施設-拡大改訂版/文書館用語集第2版/企業記録の管理/文書館と市民を結ぶ情報業務、の9点がこれまでに出版された。後述のRAMP研究シリーズと共に、世界中のアーキビストの頼りにされている。

このほか、文書館の自動化入門、機械可読文書の管理の指針などのICA団体の出版物、第1回欧州アーカイブズ会議記録集(ブタベスト)、伝統的記

録の修復 国際セミナー記録集(ニューデリー)などの各種会議録、ICA/SAE教育研修部門が発行したもののスライドと説明書のセットの教材シリーズ、研究書、会員向けの広報誌ブレティンや、各地域支部ごとの機関誌は、いずれもICA出版目録に掲載されている。物によっては入手方法も明示されていることがある。

ユネスコのRAMP研究報告書は、ICAの協力を得てユネスコが発行している出版物だ。英語なので日本人にはさほど馴染みが無いのは残念だが、文書館運営の指針となるさまざまな研究報告書やガイドラインが出されている。昨今日本でもしばしば話題にのぼる水に濡れた資料の凍結乾燥法や、アーキビスト養成のためのカリキュラムガイドラインも、このRAMP研究報告書で紹介された。文書館人にとって不可欠の資料である。

(小川千代子 国際資料研究所)

## 日本の文書館運動 - 全史料協の20年 -

1996年3月発行	A4版	416頁
定 価	25,200円(本体24,000円)	
編 者	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	
発 行 所	岩田書院	
	電話	03-3326-3757